



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年5月14日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9941 URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラル マネージャー (氏名) 宮内 敏雄 TEL 03-5333-8080
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の業績 (2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	8,819	△11.1	△54	—	△91	—	△93	—
2018年9月期第2四半期	9,921	△8.0	7	△96.5	△37	—	△38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	△70.61	—
2018年9月期第2四半期	△28.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第2四半期	11,061	196	1.7	148.33
2018年9月期	11,742	288	2.4	217.70

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 196百万円 2018年9月期 288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	9.6	130	36.1	50	205.1	40	304.9	30.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	1,328,219株	2018年9月期	1,328,219株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	753株	2018年9月期	753株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	1,327,466株	2018年9月期2Q	1,327,536株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（日付の表示方法変更）

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、外需の減速を受け、国内景気の先行き不透明感が高まっているものの、米中貿易協議への進展への期待を抱き、国内の底堅い設備投資意欲を維持しながら、第2四半期累計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要商材である牛肉につきましては、外食産業向けに順調に販売できたものの、調達価格の高値継続もあり、収益が下がりました。畜肉調製品は販売が低調に推移したことから、取扱数量・売上高とも減少しました。鶏肉は、第1四半期での仕入量を抑制してきたこともあり、取扱数量・売上高とも減少となりましたが、国内相場が上昇に転じたこともあり、収益を上げることができました。加工食品につきましては、タイ産を中心に外食産業向けに堅調に推移したものの、デリバリーの抑制等もあり、取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は88億19百万円(前年同四半期累計期間比11.1%減)、営業損失54百万円(前年同四半期累計期間は営業利益7百万円)、経常損失91百万円(前年同四半期累計期間は経常損失37百万円)、四半期純損失93百万円(前年同四半期累計期間は四半期純損失38百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第2四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(食料部)

牛肉につきましては、外食産業向けに順調に販売できたものの、仕入価格の高値が続いているため、収益率が低下しております。畜肉調製品は販売が低調に推移したことから取扱数量・売上高とも減少しました。鶏肉では、第1四半期に仕入数量を抑制してきたこともあり、取扱数量・売上高とも減少しましたが、年末から国内相場が上昇に転じたこともあり、収益を上げることができました。加工食品につきましては、タイ産を中心に外食産業向けに堅調に推移したものの、顧客側の在庫調整に伴うデリバリー抑制等もあり、取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、57億円(前年同四半期累計期間比8.8%減)となりました。

(営業開拓部)

中国向け車輛部品・エンジンにつきましては、エンジンの取引が終了したこともあり、取扱数量・売上高とも減少しました。農産物につきましては、緑豆等の販売は順調に推移したものの、大豆は価格が低迷したこと、玄蕎麦も販売先メーカーの生産が低調に推移していることから取扱数量・売上高とも減少しました。化学品につきましては、当社が取り扱っている商品の乙波価格は、海外勢の価格に太刀打ちできず、韓国産スマートフォン用塗料も取引が少なくなったことにより取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、12億48百万円(前年同四半期累計期間比42.9%減)となりました。

(生活産業部)

豚肉及び加工食品につきましては、スペイン産豚肉が順調に推移したことにより、取扱数量・売上高ともに増加しました。総合食品部で取り扱っていた中国産加工食品につきましては、中国産への風評に対する蟠りがある中、取扱数量・売上高とも前年とほぼ同じ水準で推移しました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、18億70百万円(前年同四半期累計期間比26.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期累計期間末の資産につきましては現金及び預金、商品及び製品や売掛債権の減少等に伴い、前事業年度末に比べ6億80百万円減少し、110億61百万円となりました。

負債につきましては借入金及び仕入債務の減少等により前事業年度末に比べ5億88百万円減少し、108億64百万円となりました。

純資産につきましては、当四半期純損失の計上等により前事業年度末に比べ92百万円減少し1億96百万円となりました。自己資本比率は1.7%となり、前事業年度末に比べ0.7ポイント減少しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年11月13日公表の「2019年9月 決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,183,573	2,763,341
受取手形及び売掛金	4,037,323	3,812,548
商品及び製品	3,708,295	3,760,884
その他	153,504	82,540
貸倒引当金	△2,843	△2,688
流動資産合計	11,079,852	10,416,625
固定資産		
有形固定資産	284,525	279,424
無形固定資産	23,361	21,276
投資その他の資産		
その他	354,278	343,839
投資その他の資産合計	354,278	343,839
固定資産合計	662,166	644,540
資産合計	11,742,019	11,061,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,457,196	2,010,699
短期借入金	8,241,542	8,047,034
未払費用	432,116	468,735
その他	112,059	154,410
流動負債合計	11,242,914	10,680,879
固定負債		
退職給付引当金	154,642	127,113
その他	55,465	56,264
固定負債合計	210,108	183,378
負債合計	11,453,022	10,864,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,975	1,344,975
資本剰余金	1,306,916	1,306,916
利益剰余金	△2,373,780	△2,467,517
自己株式	△969	△969
株主資本合計	277,142	183,404
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	11,854	13,503
評価・換算差額等合計	11,854	13,503
純資産合計	288,996	196,908
負債純資産合計	11,742,019	11,061,166

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	9,921,909	8,819,896
売上原価	9,608,294	8,574,450
売上総利益	313,614	245,445
販売費及び一般管理費	※ 305,923	※ 299,700
営業利益又は営業損失(△)	7,690	△54,254
営業外収益		
受取利息	118	70
受取配当金	69	—
受取賃貸料	5,961	5,842
投資事業組合運用益	872	—
保険解約返戻金	594	3,745
その他	1,082	1,154
営業外収益合計	8,698	10,812
営業外費用		
支払利息	41,857	39,879
為替差損	6,400	2,459
その他	5,920	5,897
営業外費用合計	54,177	48,236
経常損失(△)	△37,788	△91,678
税引前四半期純損失(△)	△37,788	△91,678
法人税、住民税及び事業税	1,067	2,010
法人税等調整額	△808	48
法人税等合計	258	2,058
四半期純損失(△)	△38,047	△93,737

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△37,788	△91,678
減価償却費	6,615	7,682
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△986	△154
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,062	△27,528
受取利息及び受取配当金	△187	△70
支払利息	41,857	39,879
為替差損益(△は益)	2,595	451
売上債権の増減額(△は増加)	1,170,126	224,775
たな卸資産の増減額(△は増加)	722,070	△52,588
仕入債務の増減額(△は減少)	△156,385	△446,496
前渡金の増減額(△は増加)	239,605	△10,214
未収消費税等の増減額(△は増加)	△19,268	53,784
未払費用の増減額(△は減少)	△277,094	36,878
その他	△168,544	68,039
小計	1,528,678	△197,240
利息及び配当金の受取額	187	70
利息の支払額	△46,632	△38,370
法人税等の支払額	△38,348	△8,307
法人税等の還付額	—	17,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,443,885	△226,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,414	△473
有形固定資産の売却による収入	462	—
投資有価証券の売却による収入	—	5,554
投資事業組合からの分配による収入	1,850	—
無形固定資産の取得による支出	△6,264	—
その他	3,872	4,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,491	9,801
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△260,985	△194,508
長期借入金の返済による支出	△10,063	△8,926
自己株式の取得による支出	△116	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271,164	△203,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,595	△451
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,165,633	△420,231
現金及び現金同等物の期首残高	2,175,029	3,183,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 3,340,663	※ 2,763,341

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2017年10月1日 至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	6,257,313	2,189,284	1,475,311	—	9,921,909
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,257,313	2,189,284	1,475,311	—	9,921,909
セグメント利益又は損失(△)	76,784	46,893	△4,976	△111,009	7,690

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△111,009千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2018年10月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	5,700,634	1,248,485	1,870,776	—	8,819,896
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,700,634	1,248,485	1,870,776	—	8,819,896
セグメント利益又は損失(△)	52,470	△3,548	△3,143	△100,032	△54,254

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△100,032千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来当社の報告セグメントは「食料部」「総合食品部」「営業開拓部」「生活産業部」の4区分としておりましたが、当第2四半期会計期間より「食料部」「営業開拓部」「生活産業部」の3区分に変更することといたしました。これは、会社組織の変更に伴い、2019年1月4日付けでセグメントを変更したことによります。

各セグメントの事業に係る主な取扱商品は、以下の通りであります。

- (1) 食料部 牛肉・鶏肉・タイ産加工食品
- (2) 営業開拓部 車輛部品・農産品・化学品
- (3) 生活産業部 豚肉・中国産加工食品

なお、前第2四半期累計期間の報告セグメント情報は変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。